

学校教育目標	自分を大切にできる子 共に生きる子 山元の子 【知】納得するまで追究し、自分の言葉で語る力を育てます。 【徳】自他のよさを認め合い、心豊かに生きる力を育てます。 【体】自他の心や体を大切に、健康に生きる力を育てます。 【公】身の回りの人や学校、地域のために役立つと行動する力を育てます。 【開】様々な人々との出会いを大切に、進んでかかわる力を育てます。					
	創立 102 周年	学校長 前島 潤	副校長 生武 智子	2 学期制	一般学級: 12	個別支援学級: 2
学校概要	児童生徒数: 340 人		主な関係校: 仲尾台中学校・平楽中学校			

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	中学校ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける育成を目指す資質・能力を踏まえた「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<自分づくりに関する力> ・自分を客観視する力(メタ認知力) <協働して解決する力> ・合意形成する力 ・問いかける力 ・判断する力	仲尾台(仲尾台中、立野小) 平楽(平楽中、中村小、石川小)	自立・自律する子を育てます。(仲尾台) 地域社会と共に生きる子を育てます。(平楽) ◆「人とのつながりから自己有用感を高める」ために、小中交流会は、授業参観を伴う形で行い、事後研では、子ども達の実態を基に育てたい資質・能力を検討議題とする。 ◆専任を中心に中学校ブロックと連携を促進し、あらゆる課題に組織的な対応を図る。

中期取組目標	○どの子にとっても温かい学級づくりを目指し、児童理解に努めるとともに、子どもの考えを生かす授業づくりに取り組みます。 ○子ども一人ひとりが自分らしさを発揮するとともに、他者を理解しながら協働的に問題を解決する学びを充実させます。 ○自分の思いや考えを主体的に表現することでコミュニケーションを図り、他者や社会とつながる子を育てます。 ○保護者、地域の方々、学校協力者との協働による教育活動の充実に努めます。
--------	--

重点取組分野	具体的取組				
<table border="1"> <tr> <td>知</td> <td>授業改善</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>推進委員会</td> </tr> </table>	知	授業改善	担当	推進委員会	①「自分の成長を確かめながら意欲的に学び続ける子の育成」の実現に向けて、社会科・生活科を中心とした授業研究を通じた授業改善に取り組む。 ②読む・書く、計算する等の基礎学力定着のため、ドリル学習等に取り組む時間を確保し、習熟を図る。
知	授業改善				
担当	推進委員会				
<table border="1"> <tr> <td>徳</td> <td>豊かな体験</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>特活 環境 多様性</td> </tr> </table>	徳	豊かな体験	担当	特活 環境 多様性	①農園活動や地域の材を生かした学習を通して、自然や社会とかがわる豊かな体験の充実を図る。 ②ペア学年活動の充実を図り、異学年とのつながりを深める。 ③児童が「挨拶運動」、「黙働(清掃)」へ主体的に取り組むようにする。
徳	豊かな体験				
担当	特活 環境 多様性				
<table border="1"> <tr> <td>体</td> <td>健康・食教育</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>学校保健委員 食育</td> </tr> </table>	体	健康・食教育	担当	学校保健委員 食育	①児童が自他の健康や安全を守る実践的な態度を育むために、学校保健委員会による日常的な活動を行う。 ②日々の給食指導や農園での栽培と収穫物の食材利用を通して、食教育の充実を図る。
体	健康・食教育				
担当	学校保健委員 食育				
<table border="1"> <tr> <td>公開</td> <td>自分づくり教育</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>推進委員 評価 児童指導</td> </tr> </table>	公開	自分づくり教育	担当	推進委員 評価 児童指導	①学習の振り返りの充実や「自分づくりパスポート」の活用によって、児童が自身の変容や成長を自己評価できるようにする。 ②「山元ウォーク(廊下の歩行)」など、学校のきまりを徹底し、児童の公共心を高める。
公開	自分づくり教育				
担当	推進委員 評価 児童指導				
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">いじめへの対応</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>児童指導</td> </tr> </table>	いじめへの対応		担当	児童指導	①毎朝のいじめ防止対策委員会や週に一度の児童指導全体会を通して情報の共有を図るとともに、職員の間に対するアンテナを高くし、いじめのない学校風土づくりに努める。 ②専任を中心とした組織的な児童指導体制により、正確な情報共有といじめの早期解決に取り組む。
いじめへの対応					
担当	児童指導				
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">人材育成・組織運営(働き方)</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>推進委員 メンター研 GIGA</td> </tr> </table>	人材育成・組織運営(働き方)		担当	推進委員 メンター研 GIGA	①全教職員が1回以上(担任は2回以上)、授業公開を通じた研修を行う。 ②コーディネーターの支援のもと、メンバーの主体的な研修となるメンター研修を毎月1回以上実施する。 ③ICTの活用や役割分担の徹底により、職員個々の勤務軽減を図る。
人材育成・組織運営(働き方)					
担当	推進委員 メンター研 GIGA				
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">特別支援教育</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>特別支援教育</td> </tr> </table>	特別支援教育		担当	特別支援教育	①保護者と連携し、特別支援教室を活用した支援を要する児童の取り出しや入り込み授業の充実を図る。 ②一般学級と個別支援学級の交流を保護者と合意形成を行いながら促進し、インクルーシブ教育の理念に基づいた教育活動の充実を図る。
特別支援教育					
担当	特別支援教育				
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">学校評価</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>評価</td> </tr> </table>	学校評価		担当	評価	①年間2回、学校経営について保護者アンケートを通して意見を集約し、回答するとともに、学校経営の改善に生かす。 ②年間3回、学校運営協議会を開催し、委員の方々よりの評価を学校経営の改善に生かす。
学校評価					
担当	評価				
<table border="1"> <tr> <td>a14</td> <td>a24</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td></td> </tr> </table>	a14	a24	担当		
a14	a24				
担当					
<table border="1"> <tr> <td>a15</td> <td>a25</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td></td> </tr> </table>	a15	a25	担当		
a15	a25				
担当					